

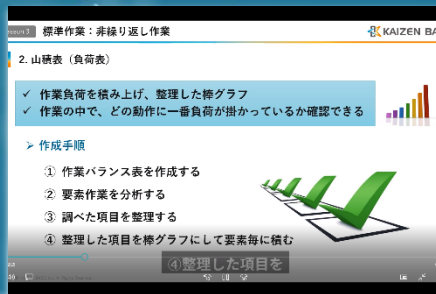
カイゼンベース学習コース紹介

トヨタ生産方式 中級編 ～標準作業～

本学習コースの狙い

「標準の無い所に改善は無い」と言われるように、標準作業は、何が問題なのかを判断する基準になります。

本コースでは、改善を考えるうえで無くてはならない標準作業についてと、必要な帳票類について確実に学習しましょう。



受講対象者：全部門（管理職向け）

eラーニング学習画面 イメージ



カリキュラム

☑ 動画再生時間：約46分 ☑ 想定学習時間：約1時間37分

教材の構成：動画コンテンツ4ヶ，理解度確認テスト 各章5問，総合テスト 全20問

※ 理解度確認テストは各章毎に設定されており、最後の総合テストでは全動画の中からランダムに出題されます。

Lesson1 標準作業とは

Lesson1 標準作業とは

1. 標準作業の定義と目的

標準作業とは、

人の動き	モノ	設備	最も効率の良い組合せを 考え、

良い品物を より早く 安全に ムダ無く造る ための 作業方法のことです

9:58

標準作業の定義と目的/標準作業の3要素とは/標準作業のタイプ/まとめ

Lesson2 標準作業：繰り返し作業（前編）

Lesson2 標準作業：繰り返し作業（前編）

1. 標準作業（タイプI）

	タイプI	タイプII	タイプIII
対象	標準作業の3要素を用いて、繰り返し標準作業が組み込まれた工程	タクトタイムは算出できるが、組合せ複雑が多く、1人分の作業量を書き表しにくい工程	非繰り返し作業を行なっている作業
ポイント	タクトタイムが明確に設定される タクトタイム＝サイクルタイムが理想	タクトタイムを加算平均でも算出することができる タクトタイム＝サイクルタイムが理想	総負荷量一定時となっているのが理想
帳票	工程別能力表 標準作業組合せ票 標準作業票	作業手順書 標準作業組合せ票 山積表（工程構成ボード） 要案作業票	作業手順書 山積表（負荷表） 稼働分析表

タイプIです

10:18

標準作業（タイプI）/工程別能力表の作り方/標準作業組合せ票の作り方

Lesson2 標準作業：繰り返し作業（後編）

Lesson2 標準作業：繰り返し作業（後編）

4. 標準作業票の作り方

- 標準作業票は、作業者毎の作業範囲、標準作業の3要素（タクトタイム、作業順序、標準手持ち）を明示したもの
- 作業動線の問題点を見つけるツール
- 品質確認、安全注意等の記号も記入

標準作業票を作成する目的

- ジグザグ歩行、戻り等、作業動線にムダが無いか確認する
- 作業動線上に安全面、品質面での問題が無いかチェックする

必ず現場の対象工程に提示し

11:33

標準作業票の作り方/標準作業（タイプII）の改善/まとめ

Lesson3 標準作業：非繰り返し作業

Lesson3 標準作業：非繰り返し作業

1. 標準作業（タイプIII）

非繰り返し作業とは

かんばんの指示に基づいた完成品運搬作業	刃具交換、品質チェック、素材搬送等	多くの自動機を掛け持ちしている作業
ライン外作業	特注品の生産	保全作業

試作品の生産

標準作業を考えていく

13:32

標準作業（タイプIII）/山積表（負荷表）/稼働分析表/まとめ



カイゼンベース株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目3-1
TEL：03-6368-5620 FAX：03-4586-7148
お問い合わせ：info@kaizen-base.com

お申し込みはWEBサイトから！
<https://kaizen-base.com/e-learning/>

